0427 山本郷平

【先週のアプリケーション案】

1. ドローン同士（4台ぐらい）を接続してマルチホップ通信の動作検証

ドローンの不安定さを考慮して、データの送受信が可能かどうか

各ドローンの距離によるデータロスの有無

飛行機が空を飛んでいる戦闘機のcg

低い精度で自動的に生成された説明

1. センサ端末で構築された各マルチホップネットワークをドローン１台に接続

管理者がこのマルチホップネットワークが構築されてある建物から遠い場合でも、ドローンがデータを持って, 受信可能な距離まで届けてくれることで, 受信可能になる.

>大規模に思えるが, マルチホップネットワークを構築している建物だけで考えると,今までと同じで小規模農業である.

図形 が含まれている画像

自動的に生成された説明

【Routerのルーティングを可視化する方法】

〇アルベルト先生にいただいたURL

[GitHub - Codemonkey1973/JN51xx-802.15.4-Sniffer-Server: A sniffer server for use with NXP's JN51xx wireless Microcontrollers running their packet sniffer firmware](https://github.com/Codemonkey1973/JN51xx-802.15.4-Sniffer-Server)

Snifferをダウンロードするつもりだったが、以下にもともと存在していた.

C:\nxp\bstudio\_nxp\sdk\JN-SW-4170\Tools\JennicSniffer

〇可視化するまでの手順

1. snifferが受信したパケットを抽出し、Wiresharkに送信するサーバープログラム

（JN51xx-802.15.4-Sniffer-Server.exe）をインストール.

1. Wiresharkを使用して、受信したパケットを可視化.

受信されたパケットでは、srcとdst、およびその他の情報を見つけることが可能.

Wiresharkに送信するサーバープログラム（JN51xx-802.15.4-Sniffer-Server.exe）を上記のサイトからダウンロードした結果

